

2020.5.27

報道関係各位

アストンマーティン・ジャパン

**Press Release**

**アストンマーティン・ラゴнда、トビアス・ムアースを新しい最高経営責任者に任命**

2020 年 5 月 26 日、ゲイドン(英国):

本日、アストンマーティン・ラゴнда・グローバル・ホールディングス plc の取締役会は、Dr. アンディ・パーマーが社長兼グループ最高経営責任者(CEO)を退任することで取締役会と合意したことを発表しました。

取締役会は、トビアス・ムアースを最高経営責任者(CEO)に任命することも併せて発表しました。CEO に任命されたトビアス(54)は、Dr. アンディ・パーマーの役職を引き継ぐことになります。トビアスは、2020 年 8 月 1 日付けで、英国ウォリックシャー州ゲイドンの本社において、新しい役職に就任します。

それまでの暫定期間中は、現在、副社長兼最高製造業務責任者を務めているキース・スタントンが暫定最高執行責任者に任命され、取締役会会長のローレンス・ストロールをサポートします。

トビアスは、ドイツを本拠地とする世界的な自動車メーカーであるダイムラーAG で 25 年以上にわたり上級管理職を務め、自動車業界における優れた実績と豊富な経験を備えた人物です。彼は現在、ダイムラーAG 取締役会会長であり、メルセデス AMG GmbH の最高経営責任者を務め、最高技術責任者も兼任しています。彼は、競争の激しい自動車業界において、事業の変革を成功させた手腕が高く評価されています。

トビアスのリーダーシップのもと、メルセデス AMG は製品ポートフォリオを 2 倍以上に拡充し、AMG 車両の販売台数を 4 倍にしました。特に、パフォーマンス・セグメントにおけるパワーtrainの電動化に取り組み、さらなる販売拡大に対する明確な道筋をつけました。トビアスは、業務および製造の効率化を追求し、利益率を大幅に引き上げることに成功して



## ASTON MARTIN

います。この力強い財務実績は、明確なブランド管理戦略によって実現しています。この戦略により、ブランドの価値と認知度が大幅に向上しています。

アストンマーティン・ラゴンダ取締役会会長のローレンス・ストロールは、次のように述べています。「取締役会は、新しいリーダーシップによって、弊社の計画を推進すべき時が来た」と判断しました。取締役会を代表して、2014 年から個人的なコミットメントと献身的な働きによってアストンマーティン・ラゴンダの経営を主導してきたアンディに感謝したいと思います。彼が CEO を務めている間、弊社は DB11、Vantage、DBS Superleggera をはじめとするスポーツカーの主力ラインナップを刷新し、ブランド初の SUV である DBX の出荷準備を、この夏に向けて整えることができました。さらに、アストンマーティンの新たな時代を象徴する Valkyrie (ヴァルキリー) ハイパーカーの開発によって、ミッドエンジン・ラインナップへの道を切り開きました。現在は、新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) による困難と不確実な状況に直面していますが、彼の素晴らしいリーダーシップの能力を称えたいと思います。

今回、トビアスをアストンマーティン・ラゴンダに迎えることができ、大変嬉しく思っています。彼は非常に才能のある自動車業界のプロフェッショナルであり、ダイムラー AG における長年の豊富な実績を備えたビジネスリーダーでもあります。アストンマーティンとダイムラー AG は、長期にわたって成功を収めている技術的および商業的なパートナーであり、私たちは、今後もこの関係を継続することを希望しています。彼は、キャリアを通じて、製品ラインナップの拡大、ブランド・ポジショニングの強化、収益性の向上を実現してきました。彼は、アストンマーティン・ラゴンダのリーダーとして適任であり、アストンマーティンの事業戦略を実行することによって、彼の能力を最大限に引き出すことができると確信しています。私たちは、今後の会社の方針に関して、明確に意見が一致しており、事業を成功に導くための強い決意を固めています。

私とトビアスは、全力を尽くして仕事に取り組めます。弊社が本来備えている強み、ブランド・バリュー、エンジニアリング能力、アストンマーティンを世界有数のラグジュアリー・ブランドへと押し上げる原動力となった高度なスキルを備えた人材は、そのための素晴らしい基盤を提供してくれるでしょう。」

トビアス・ムアースは、次のように述べています。「会社が成長を遂げているこの時期に、アストンマーティン・ラゴンダの一員に加わることを大変楽しみにしています。私は常にパフォ



ASTON MARTIN

ーマンスカーに情熱を傾けており、このアイコン・ブランドと共に働く機会を得ることができて嬉しく思っています。アストンマーティンとパートナーシップを締結した当初、両社は技術面で非常に近い考え方を持っていました。ローレンスが取締役会会長に就任した後、彼が率いる Yew Tree Consortium による巨額の投資が実施され、増資と調整が完了しました。これによって、弊社のビジネスの強みを活かし、計画どおりに製品ラインナップを拡大し、ブランド・バリューを高める貴重な機会が創出されたと確信しています。ローレンスおよびアストンマーチン・チーム全体と協力して、お客様、従業員、パートナー、株主のためにより力強い事業を構築することを目指します。」

アンディ・パーマーは、次のようにコメントしています。「約 6 年間にわたり、アストンマーティン・ラゴндаを主導できたことは、私にとって大変栄誉なことです。新型 DBX を含む数多くの新製品は、従業員の献身的な努力と高い能力を実証するものです。特に、新型コロナウイルス感染症によって引き起こされた困難な時期に、素晴らしい働きとサポートを提供してくれた経営陣とすべてのスタッフに感謝したいと思います。私は、アストンマーティンの全従業員を誇りに感じています。彼らと一緒に仕事をすることができて光栄でした。」

###

こちらのプレスリリースに関する画像データは下記よりダウンロード可能です。

<https://astonmartin.wetransfer.com/downloads/d630798591359f0146921a2b0d550fd220200526042300/235f2a>

### アストンマーティン・ラゴндаについて

アストンマーティン・ラゴндаは、エクスクルーシブなスポーツカーと SUV の製造を専門とする、ラグジュアリー・オートモーティブ・グループです。アストンマーティン・ブランドは、最先端の技術、卓越したクラフトマンシップ、時代を超越したデザインを融合することにより、Vantage、DB11、Rapide AMR、DBS Superleggera、新しい SUV の DBX といった先駆的なモデルを生み出しています。英国のゲイドンを拠点とするアストンマーティン・ラゴндаは、ラグジュアリー・カーを設計、製造、輸出し、世界 51 か国で販売しています。

ラゴндаは 1899 年に、アストンマーティンは 1913 年に設立されました。この 2 つのブランドは、1947 年にデイヴィッド・ブラウン卿が買収して統合されました。

###



ASTON MARTIN

詳しい情報は、ウェブサイト([www.astonmartin.com](http://www.astonmartin.com) または [www.astonmartin.com/media](http://www.astonmartin.com/media)) から入手可能です。

アストンマーティン・ソーシャルメディア・チャンネルは、以下のリンクからアクセスできます。

- [Facebook](#)
- [Twitter](#)
- [Instagram](#)
- [Google+](#)
- [Pinterest](#)
- [YouTube](#)
- [LinkedIn](#)
- [Vine](#)

Aston Martin Japan の [Twitter](#) も開設されていますので、併せてご確認ください。

**メディア問い合わせ先:**

コスモ・コミュニケーションズ  
アストンマーティン PR チーム  
今野 博文  
Tel: 03-6434-5839  
M: 090-6180-0281  
[hirofumi\\_konno@my-z.co.jp](mailto:hirofumi_konno@my-z.co.jp)

田村 沙智  
M: 090-5476-2554  
[sachi\\_tamura@my-z.co.jp](mailto:sachi_tamura@my-z.co.jp)